

北薩感染症情報

2019年第31週(7月29日~8月4日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
小児科 定点	RS	-	-	-	-	-	-	→	-	-	2	0.67	↗	-	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	2	2	0.50	→	-	5	0	0.00	↓	-	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	3	7	1.75	↗	-	5	2	0.67	↓	-	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	5	11	2.75	↗	-	3	2	0.67	↓	-	
	水痘	2.0	1.0	1.0	1	3	0.75	↗	-	1	-	-	↓	-	
	手足口病	5.0	2.0	-	7	18	4.50	↗	-	4	7	2.33	↗	-	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	4	4	1.00	→	-	3	6	2.00	↗	◎	
	突発性発疹	-	-	-	4	5	1.25	↗	-	1	-	-	↓	-	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	3	5	1.25	↗	-	2	1	0.33	↓	-	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科 定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	1	5	5.00	↗	-	/	/	/	/	/	
基幹 定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	2	2.00	↗	-	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	1	1.00	↗	-	
インフルエンザ 入院報告	-	-	-	-	-	/	/	-	-	/	/	/	-		
報告数合計		-	-	-	30	60	/	↗	/	24	23	/	↓	/	
<p><注意報・警報></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 警報基準に達した感染症の報告はありません。 ・出水保健所管内 伝染性紅斑(警報12連続発令中) <p><全数報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 結核(患者2人) ・出水保健所管内 なし <p><インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 なし ・出水保健所管内 なし 															

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	2.25	1.00	0.75	0.75	1.00	0.75	1.25	0.75	0.50	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	2.50	1.75	1.75	2.00	1.50	0.75	0.50	0.75	0.75	1.75
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	3.50	3.50	2.75	1.50	3.00	0.75	0.50	1.75	1.25	2.75
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.25	0.50	0.50	-	1.00	-	0.50	0.25	0.25	0.75
	手足口病	5.00/2.00	-	30.25	34.50	20.00	10.50	3.00	3.00	2.00	1.75	1.75	4.50
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	1.00	1.25	-	1.50	1.00	1.50	1.50	1.00	1.00	1.00
	突発性発疹	-	-	0.50	0.75	1.25	0.75	1.00	0.75	0.75	0.75	1.00	1.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.25	-	-	-	0.25	-	0.75	0.75	0.75	1.25
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	8.00	8.00	6.00	6.00	9.00	4.00	4.00	4.00	1.00	5.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)										
				22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.67
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	0.67	0.33	1.00	0.67	0.33	0.33	-	0.67	1.67	-	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	2.00	2.00	1.33	1.33	1.00	1.33	1.00	0.67	1.67	0.67	
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	12.00	7.67	6.00	3.00	1.00	2.00	2.00	1.33	1.00	0.67	
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.33	0.67	0.67	0.67	0.33	-	1.33	-	0.33	-	
	手足口病	5.00/2.00	-	19.00	20.67	9.33	9.33	3.33	5.33	2.33	1.33	1.33	2.33	
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	1.00	3.00	1.33	5.00	3.33	1.67	3.33	1.67	1.00	2.00	
	突発性発疹	-	-	1.00	0.33	-	-	0.33	0.33	1.00	1.00	0.33	-	
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	1.67	1.00	2.00	1.67	0.33	1.33	0.67	1.00	0.67	0.33	
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1.00	-	-	3.00	1.00	1.00	-	-	2.00	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	2.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	

(注意報・警報)

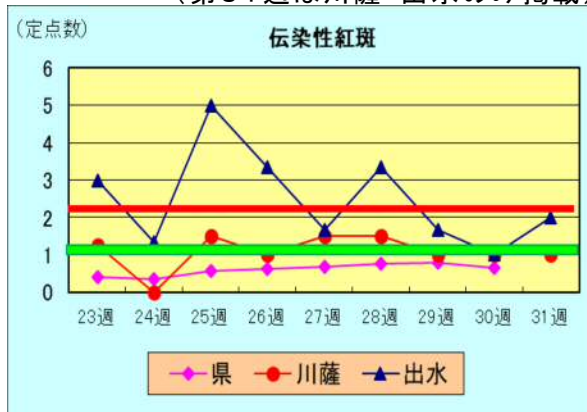
○伝染性紅斑について

【警報開始基準値 2.0, 警報終息基準値 1.0】

第31週の伝染性紅斑の発生状況は、川薩保健所管内からは、3週連続4名(定点あたり報告数1.00)の報告でした。

出水保健所管内からは、6名(定点あたり報告数2.00)の報告があり、**警報が12週連続継続中です。**

(第31週は川薩・出水のみ掲載)



注目の感染症

ダニ媒介感染症

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに咬まれることによって起こる感染症のことです。

人が野外作業や農作業、レジャー等で、これらのダニの生息場所に立ち入ると、ダニに咬まれることがあります。

ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、咬まれた人が病気を発症することがあります。

○ 主なダニ媒介感染症

- ・クリミア・コンゴ出血熱
- ・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)
- ・ツツガムシ病
- ・回帰熱
- ・ダニ媒介脳炎
- ・日本紅斑熱

○ マダニがまれないように注意しましょ

特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。

草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する)、足を完全に覆う靴(サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。

服は、明るい色のもの(マダニを目視で確認しやすい)がおすすめです。
虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われてい
ます。また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、わ
きの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などがポイントです。

○ マダニ咬まれた場合

マダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長

時間（数日から、長いものは10日間以上）吸血しますが、咬まれたことに気がつかない場合も多いと言われています。

吸血中のマダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので、医療機関（皮膚科）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらってください。また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

○ 啓発ツール

厚生労働省ダニ媒介感染症

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>


ダニ対策

「ダニ」にご注意ください

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、登山など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。
野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

- 肌の露出を少なくする
⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- 足を完全に覆う靴を履く
⇒サンダル等は避ける
- 明るい色の服を着る（マダニを自視で確認しやすくするため）
 - ※ 上着や作業着は裏の側に開かさないようにしましょう
 - ※ 野外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう



ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】
①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動







ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各都道府県のダニ媒介感染症対策課のウェブサイトよりQRコードを読み取って下さい。



平成29年4月



今年も あなたの血を狙って 奴らがやってくる!

～ダニ・蚊の襲来に備えよ～

草むらに入る時は注意しよう!

肌の露出を減らそう!

虫よけ剤を使おう!

ペットの虫よけも万全に!

蚊やダニは病気を持っているものもあり、咬まれないことが大切です。

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(HFRS)・ダニ媒介脳炎・日本紅熱病・ツツガ虫病・ライム病 など
 【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニヤ熱・ジカウイルス感染症 など

蚊・ダニに咬まれないポイント

蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボンを着用する
 - 足を完全に履き靴を履く(サンダルなど履き替え)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ※野外活動後は入室し、ダニに咬まれているか確認しましょう。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、顔の裏などに注意しましょう。



蚊媒介感染症
厚生労働省

ダニ媒介感染症
厚生労働省

※各都道府県の保健所や保健センター、保健所保健センターなどで相談してください。